平成 27 年度アクションプランの実施内容報告

平成 28 年2月 26 日

平成26年度推進委員会での主要意見及び平成27年度アクションプランの実施内容

H25年以降追加プロジェクト
後期実施予定プロジェクト

●H27　総括（元気にする会での意見等）
〇H27.12.22活性化委員会での主要意見

基本方針	テーマ	分類	資料No.	実施時期	アクションプラン	H26推進委員会の主要意見	H27実施内容	H27の総括および意見交換会でのポイント
1．美しいふるさとづくり	Ⅰ．水源地域の景観形成	1．水源地域の景観向上	①	早期	河川と道路の景観保全活動	●林道森脇線を是非、車も含めて通れるようにしてほしい。もし、不法投棄があればその時に処置の方法で考えればよく、ゴミ問題の啓発も含めて「きれいな道路として使いましょう」ということをしっかり周知した方がよい。	1．生活拠点施設～うぐいす茶屋間での草刈やゴミ拾い 2．企業CSR（ライトアップの前々日）	●林道森脇線は企業CSRで道路の側溝の清掃をしており、草刈りも含めて実施。 ●除草作業はイベント前をタイミングとして国、県、町、地域の連携により実施され、周辺地域を訪れる「おもてなし」として、道路周辺の景観を維持・形成することができた。 ●企業CSR活動は定着化しつつあり、参加した子供たちとウォーキングを兼ねたゴミ拾いを実施するなど、町内及び下流域の企業から多くの方に参加していただいているため、交流事業としての意義もあり、継続することが重要。 ●家畜の放牧については、イベント時に試験的に実施したが、牛そのものが放牧になれていくことも重要。 ●乗馬体験についても検討したが、安全性の確保や人的支援などが課題になり、今年度は見送った。 ●ライトアップは定着しつつあり、地元では好評であるが、今後は集客素材として活用した方がよい。 ●国が実施したイベント会場でのアンケート調査では、「花が少なくがっかりした」といった意見が多かったため、ポピー／コスモスを維持し、通常期でも花を愛でることができるようにしたほうがよい。 〇立木の枯れ枝がひどい状況のところもあり、冬季の雪の時期は危険を感じる箇所もあることから、その伐採作業についても実施して欲しい。 → 県道佐田八神線など
				早期	クリーンウォーク （景観保全活動に含む）			
				早期	草刈り研修会 （景観保全活動に含む）			
			②	早期	町有林による景観美化		1．環境学習の場としての可能性調査の実施	
		2．牧歌的な風景づくり	③	中期	家畜の放牧		1．コスモス祭での試験放牧の実施	
		3．四季の彩り フラワーバレー	—	中期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出		—	
			—	中期	フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備		—	
			④	早期	彩りの森の紅葉をライトアップ	●ライトアップは、全体を照らし出す方法をやらないと、知っている人でないと気が付かない可能性がある。	1．紅葉のライトアップ （彩りの森／うぐいす茶屋駐車場シンボルツリー） 2．紅葉祭りの開催	
			⑤	追加	志津見ダムのライトアップ		1．彩りの森ライトアップにあわせ志津見ダムのライトアップ	
			—	中期	一軒一鉢運動を展開		—	
	Ⅱ．自然環境の保全活用	4．神戸川エコロジカルネットワーク	⑥	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会		1．出雲市内の小学生親子による「親子であそぼう」の実施 （そば打ち体験、ダム見学など）	●「親子であそぼう」など、これまでの体験プログラムを活かし、実施することは既に定着化しつつある。今後は、田舎体験も含め、他地区での実施についても検討する。 〇現在、素手で水の感触を確かめるところがないので、安全に水辺に使づけるような整備が必要。できれば、河川プールのような展開も望ましい。（小学校前の「さくら広場」の整備など）。
			⑦	早期	水辺で遊べる場づくり （既存施設の活用）	●小学校の前はコンクリートで整備し、川へ出られるようにしたが、それから先はまだ実施していないために草が生えている。 ●水辺の整備については、当初の計画があるのであれば、最後まで進めた方が良い。	1．意見交換会の実施（”水辺で乾杯”後） 2．志津見大橋下流の平地の活用を検討	
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	Ⅲ．水源地域の活性化	5．神戸川「川の駅」づくり	⑧	早期	青空市の活性化		1．うぐいす茶屋販売コーナーの維持（通年販売）	●ダム貯蔵酒は「蔵入れ」が終わった段階にステップ・アップできた。今後は、ポピー祭りでの販売状況を踏まえつつ、継続性を確保し、話題作りや定着化を目指す。 〇ダム貯蔵酒は話題性や販売において可能性を感じるので、もっと積極的にアピールした方がよい。 〇ダム貯蔵酒の意図や意味が購入者に伝わらない可能性もあるので、簡潔な説明文も加えて販売した方がよい。 ●ダムカレーコンテストの作品は、商品化を前提にしていなかったためコスト高になっているが、講演会の開催は地区内への意識付けにはなった。今後に向けては、採算性を考慮しつつ、イベント時での提供などを試行する。 ●県や町の別事業で展開している特産品づくり等の成果もビジョンの中で位置づけ、具現化を目指す。
			—	中期	憩いの場の充実	●志学の桜の植栽では、広島方面から人を集め、活動をしたいとあるが、どのように人を集めて、どのような活動をするのか。	1．志々さくら広場に手づくりベンチの設置 ※ シーズンオフは撤去　（わっしょい志々会）	
			⑧	中期	特産品の開発	●アクションプランが一般の方に全く知られてないので、皆でやれるような方向に持っていったほうが良い。 ●地域住民の方々は、実際にはいろんな行事に参加していただいているが、全てが単体で動いており、ビジョンの全体像は理解してもらえていない。 ●家庭の味祭りなども、ビジョンとは離れた感覚で皆さんが参加しており、ポピー祭は「以前からの祭りであり、ビジョンとは全く関係ない」といった意識になりつつある。 ●したがって、もう少し工夫し、志々地区全体の計画の中で位置づけされているという理解を促進する必要がある。	1．ダム貯蔵酒（貯蔵開始） 2．ダムカレーコンテスト＆講演会の開催 （家庭の味祭り内） 3．漬物づくりや缶バッチづくり（わっしょい志々会）	
		6．地域コミュニティーの強化	⑨	早期	地域懇親会の開催		1．クラインカルデン歓迎会 2．公民館まつり （志々の全地区参加によ「はやしこ」の披露」 3．庵まつり 4．昭和少年少女の集い	
			(⑦)	中期	七夕祭り		1．”水辺で乾杯”の実施	
		7．志津見湖のイメージアップ	—	早期	イメージキャラクターの活用 （地域懇親会テーマ）		1．記者発表など広報資料等への「くにびきくん」の掲載	
		8．自然に優しいエコ活動	—	中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	●小水力発電については、町は維持管理の面で非常にリスクが多く、断念した経緯があるので、ビジョンには記載しない方がよい。	1．ビジョンの中期版の冊子改定時、小水力発電の記載を削除	
	Ⅳ．地域の有する歴史文化の継承	9．伝えようふるさとの歴史と文化	⑩	早期	食文化伝承レシピの作成		1．家庭の味祭り開催 （ダムカレーコンテスト・講演会の実施）	●家庭の味祭りのイベントでは、参加者がお互いの家庭料理に興味をもち、積極的な意見交換が行われたので、今後もイベントを継続して行うべきである。 ●家庭の味祭りのイベントの際行ったダムカレー講演会により、ダムカレーのレシピを知りたいなど興味をもってもらう事ができたので、今後ダムカレーを活用した取り組みを継続して行うべき。
			—	後期	遺物の展示		1．志々エリアで出土した土器などの常設展示	
			⑪	早期	民具の展示	●展示の仕方が粗末であり、展示の意図や重要性をまったく感じないので見直したほうが良い。	1．うぐいす茶屋での常設展示	

平成26年度推進委員会での主要意見及び平成27年度アクションプランの実施内容

H25年以降追加プロジェクト
後期実施予定プロジェクト

●H27　総括（元気にする会での意見等）
○H27.12.22活性化委員会での主要意見

基本方針	テーマ	分類	資料No.	実施時期	アクションプラン	H26推進委員会の主要意見	H27実施内容	H27の総括および意見交換会でのポイント
3．人が集まるふるさとづくり	Ⅴ．水源地域のPR	10. 水源地域の修景	—	中期	サインの設置による 水源地域の明示		—	
			—	中期	草花・花木植栽による 水源地域へのゲートづくり		—	
	Ⅵ．上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	⑫	早期	ポピー祭・コスモス祭開催	●ダムの堰堤の方が閉門してあり見学等もできないが、ポピー／コスモス祭等のときには管理者が立ち会い、堰堤からの景色を見られるという日があってもいい。 ●堰堤の開放はPR不足であるが、「いつでも見ることができます」ではなく、「年間12日しか見ることができません」といった希少価値を高めるような展開もある。	1. 巡視体験等の実施 （イベント時、地元住民向け） 2. ダム・発電所見学会の実施 （土日のダム見学依頼には柔軟対応） 3. ポピー／コスモス祭ではブースにてパネル展示を実施	●PRの方法として、ポピー／コスモス祭でデジタルサイネージを活用したダム見学や巡視体験の情報提供を行った。 ●ポピー・コスモス祭は地域イベントとダムが連携していることが特長であり、尾道松江自動車道の利用客など広範囲な集客が確認できたが、地元住民の参加率が低い。 ●ポピー・コスモス祭では、会場での子供参加型の企画が少ないので、参加したことが思い出になるような体験プログラムを提供した方がよい。 ●今回のポピー・コスモス祭ではマーケティング調査を行うことで来場者の特性や満足度などを把握することができ、祭の実態を把握することができた。 ●水没した地名や施設名を記載したマップについては、ダムの管理図をもとに現地調査を企画したが、天候不順にて中止。 ●ラジコンボート操縦体験の結果、その会場周辺（フラワーバレー）の利用方法についても検討の余地があり、整備、運営方針を含めた新たな展開を検討する。 ○イベント時以外でも、適宜、この地域を楽しめることができる仕掛けとして、遊歩道や釣り場の整備を進めた方がよい。
			—	後期	野外コンサート	●野外コンサートは、公園の木が小さく、夏は暑いところなので、季節の良い涼しい時期にやればできるのではないか。	—	
			—	後期	ナイトバザール		—	
			⑬	早期	志々ファンクラブ		1. フェイスブックによるビジョン情報の発信	
			—	早期	シンボルオブジェ作り		—	
		12. 湖面イベントの開催	（⑫）	早期	湖面巡視体験	●地元向けの巡視体験では、昔はこの地区で生活していたが、実際に湖上から見ると地形がわからないため、以前の谷の名称や地名、施設名といった情報を記載したマップを見ながら巡回することができればよい。	1. 巡視体験等の実施 （ポピー／コスモス祭、地元住民向け）	
			—	早期	カヌー教室（PTA対象）		—	
			—	中期	カヌー教室（一般対象）		—	
			—	後期	魚釣り大会		—	
			⑭	中期	ラジコンボートレース大会		1. コスモス祭での「ラジコンボート操縦体験」の実施	
		13. 志々のみどころ紹介	—	中期	手作り見どころ案内板	●この地区は、ほとんど史跡等に対して看板がないので、手づくりの見どころ案内板をぜひ進めて欲しい。 ●志津見の明剣神社には巨木があるが、そこに行ける状態ではないので、大きなカシノキやイチョウがあることを看板で案内した方がよい。	1. 志々地区の遺跡、神社・仏閣、自然の景勝を紹介する手作り看板の設置について検討 （わっしょい志々会）	●卓上カレンダーを試行的に制作した過程において、地域の魅力を再認識することができた。 ●三瓶地域を含めて、マップを見る人の行きたいところが書いてあるものにすると便利である。 ●フォトコンテストの撮影スポットや眺望スポット等については、地区の広報ツール等で活用を検討。 ●ダム管理支所前の広場は柵付近の除草を実施し、ダム本体が見えやすいようにした。また、車椅子利用者でも柵付近まで近づいてダムを見てもらえるように舗装を行うよう考えており、今年度内の国の工事で施工予定。
			—	早期	マップ（パンフレット）づくり （地域懇親会テーマ）	●素人でもいい写真が撮れるようなフォトコンテストの写真撮影スポット、眺望スポットといった標識があるとよい。 ●ウオーキングの看板が設置されているが、うぐいす茶屋駐車場の隅の方にあって分かりにくいので、見える場所に設置した方がよい。 ●ダムの公園には「顔出し写真撮影用看板」を設置し、顔を入れて写真を撮れば背景のダムが上手く写るようにすればよい。 ●ダムの管理事務所からダム湖内が見えないので、もう少し前まで行けるようにできないか。堰堤の方は伐採して見えるようになっているが、もう少し湖内が見えるところを整備して欲しい。 ●ダム湖の岸まで行くのが大変難しいので、ボートがあるところの湾の周辺など、湖内が見えるような所を歩いて回れるような遊歩道があればよい。水辺で遊ぶことは難しいが、「見て歩く」ということで検討した方がよい。	—	
			⑮	早期	フォトコンテストの開催		1. 年間を通した募集	
			⑯	追加	志々のみどころ紹介		1. 卓上カレンダーの制作 ・フォトコンテスト作品の活用 ・域の魅力再確認） ・ダムのビューポイントの整備と紹介	
			⑰	追加	水源地域のサイン計画		—	
		14. 田舎ツーリズムの展開	⑱	中期	田舎体験		1. 出雲市内の小学生親子による「親子で稲刈り」の実施（稲刈り体験、ダム見学など） 2. 獅子地区における次年度実施に向けた協議の実施	●獅子地区での田舎体験プログラムの実施について地元で協議したところ、「出来る範囲で自分たちもやってみよう」といった気運になった。
		15. 他地区との連携	⑲	中期	広域的な連携検討	●道路のアクセスの関係で、八神の連担地から来島へ向かって、大字獅子の方へ向かったところはまだ道路整備ができていないが、最近は大型車が非常によく通行しており、事故が起きた後では遅いので道路整備が必要。	1. 企業CSRへの招待 2. ホームページでの相互PR	●県道頓原八神線 長谷工区として、S字急カーブ区間の緩和・改良工事に今年度から着手している。 （全体工事延長L=400m）　※H30年度完成予定 ●ドライブやツーリングでは、三瓶山方面の出入口であるとともに、出雲方面、松江方面に向かう人も多い。 ●三瓶山方面は、国のイベント会場でのアンケート調査結果からも立寄り実績が多い。

志津見ダム水源地域ビジョン アクションプラン　平成27年度　年間スケジュール

基本方針	アクションプラン（細目）	平成27年度 3月 下	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	1月 中	1月 下	2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下	平成28年度 4月 上	4月 中	4月 下	備考
会議	1　水源地域ビジョン推進委員会																																		●2/26								ビジョンの推進状況を管理
会議	2　周辺活性化総合整備推進委員会																												●12/22														今年度はダム貯蔵酒の蔵入れにあわせ開催予定
会議	3　志々を元気にする会											●7/2				●8/11				●9/30					●11/17								●2/8									概ね2ヶ月に1回開催
1．美しいふるさとづくり	1-1 河川と道路の清掃活動																																									
1．美しいふるさとづくり	除草（河川）						←	→					←									→																				
1．美しいふるさとづくり	除草（道路）								●6/6						●8/1																											
1．美しいふるさとづくり	除草（フラワーバレー）						←	→					←									→																				
1．美しいふるさとづくり	ハートフルロード 国道184号								●6/6						●8/1																											
1．美しいふるさとづくり	1-2 クリーンウォーク																																									
1．美しいふるさとづくり	企業CSR																						●10/31																			25団体、95名の参加
1．美しいふるさとづくり	1-3 町有林による景観美化																																									
1．美しいふるさとづくり	1-4 草刈り研修会																																									
1．美しいふるさとづくり	2-1 家畜の放牧																					●10/11																				コスモス祭に併せ果樹園に放牧
1．美しいふるさとづくり	3-1 夏の花の花壇整備																																									
1．美しいふるさとづくり	3-2 フラワーバレーに山野草観賞エリア																																									
1．美しいふるさとづくり	3-3 彩りの森の紅葉ライトアップ																																									
1．美しいふるさとづくり	紅葉祭																						●10/31-11/1																			彩りの森の紅葉の植栽管理176名の参加
1．美しいふるさとづくり	紅葉ライトアップ																						●10/31-11/30																			彩りの森、うぐいす茶屋駐車場シンボルツリー
1．美しいふるさとづくり	志津見ダムライトアップ																																									
1．美しいふるさとづくり	3-4 一軒一鉢運動																																									下流域の子どもたちがダム見学、そば打ち、稲刈りなどを体験
1．美しいふるさとづくり	4-1 子供向け環境学習会															●8/22			●9/12																							
1．美しいふるさとづくり	4-2 水辺で遊べる場づくり																																									
1．美しいふるさとづくり	地域との意見交換											●7/7																													水辺で乾杯後に地酒で意見交換
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	5-1 青空市の活性化		←																																						→	うぐいす茶屋店舗前にて通年販売
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	5-2 憩いの場の充実																												●12/23													志々さくら広場に手作りベンチの設置
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	5-3 特産品の開発																																									
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	ダムカレーコンテストの開催																										●11/28															第11回家庭の味まつり内で開催（公演会有り）
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	ダム貯蔵酒 貯蔵開始																												●12/22													
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	ダム貯蔵酒 お披露目																																									※第25回ポピーまつりにてお披露目予定
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	やまめ寿司の試験販売																															●1/30										飯南高校生の発案によるヤマメの棒寿司をうぐいす茶屋で販売
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	6-1 地域懇親会の開催																																									
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	クラインガルテン歓迎会			●4/18																																						
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	公民館まつり																	●8/29																								志々の全地区参加によるはやしこの披露
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	庵まつり														●8/1																											
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	志津見収穫祭																								●11/14																	志津見地区住民との収穫祭の開催
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	昭和少年少女のつどい																																		●2/27							昔の遊びなどを通じて世代間で交流を行った
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	6-2 七夕祭り											●7/7																													水辺で乾杯
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	7-1 イメージキャラクターの活用																																									
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	8-1 エコ活動の展開																																									
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	9-1 食文化伝承レシピ																										●11/28															第11回家庭の味まつり。ダムカレーコンテスト、講演会。
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	9-2 遺物の展示																																									
2．明るく元気で豊かなふるさとづくり	9-3 民具の展示		←																																						→	うぐいす茶屋周辺にて通年展示
3．人が集まるふるさとづくり	10-1 サインの設置																																									
3．人が集まるふるさとづくり	10-2 草花・花木植栽ゲート																																									
3．人が集まるふるさとづくり	11-1　ポピー祭									●6/14																															来場者5,500人
3．人が集まるふるさとづくり	実行委員会					●5/1																																				
3．人が集まるふるさとづくり	11-1　コスモス祭																					●10/11																			来場者5,000人
3．人が集まるふるさとづくり	実行委員会																	●8/31																								
3．人が集まるふるさとづくり	11-2 野外コンサート																																									
3．人が集まるふるさとづくり	11-3 ナイトバザール																																									
3．人が集まるふるさとづくり	11-4 志々ファンクラブ																																									
3．人が集まるふるさとづくり	ちびっこ集まれ					●5/3.4.5																																				
3．人が集まるふるさとづくり	11-5 シンボルオブジェ作り																																									
3．人が集まるふるさとづくり	12-1 湖面巡視体験									●6/14												●10/11																				ポピー祭・コスモス祭に併せ開催
3．人が集まるふるさとづくり	12-2 カヌー教室																																									
3．人が集まるふるさとづくり	12-3 魚つり大会																																									
3．人が集まるふるさとづくり	12-4 ラジコンボートレース大会																					●10/11																				コスモス祭に併せ、ラジコンボートコーナーを開催
3．人が集まるふるさとづくり	13-1 手作りみどころ案内板																																									
3．人が集まるふるさとづくり	13-2 マップづくり																																									
3．人が集まるふるさとづくり	13-3 フォトコンテストの開催									●6/14												●10/11																				ポピー祭・コスモス祭に併せコンテストを実施
3．人が集まるふるさとづくり	14-1 田舎体験																		●9/12							●11/26								●2/15								親子で稲刈り　獅子地区において来年度実施に向け調整中
3．人が集まるふるさとづくり	15-1 広域的な連携検討																						●10/31																			企業CSR活動への招待、HPへの情報提供

【基本方針１：美しいふるさとづくり】

資料①：河川と道路の景観保全活動、グリーンウォーク、草刈り研修会

（既存）　流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

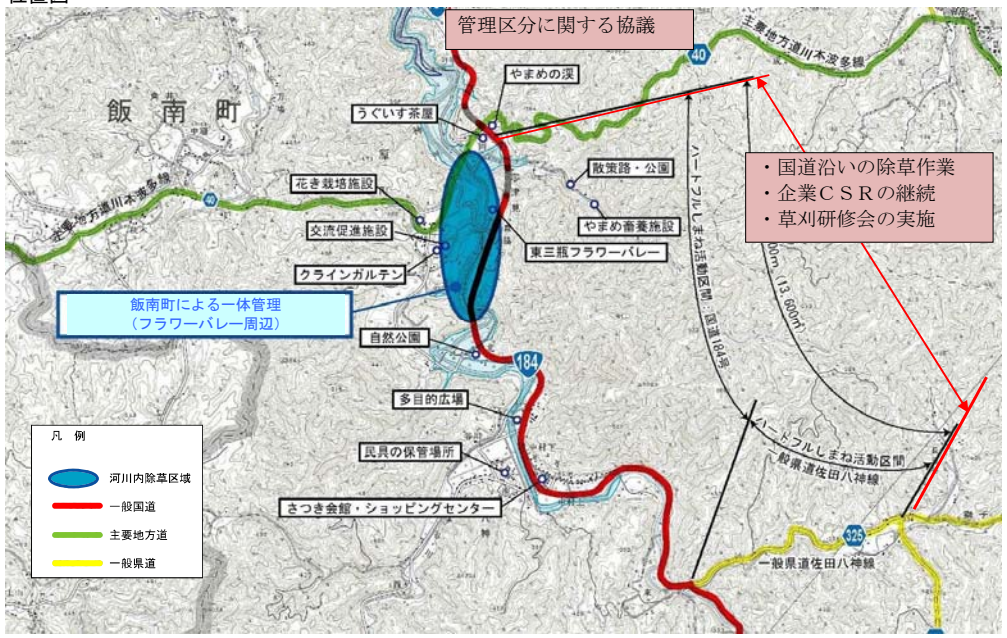
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成
	場　所	・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道 184 号、県道など
	内　容	・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動を行う。（既存取り組み） ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。（新規取り組み） ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会（イベント的な要素も盛り込む）をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。（新規取り組み） ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』（「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等）を企画する。（新規取り組み） ・活動終了後は交流会を開催する。〔志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やこごみを使った山菜弁当で交流会を実施〕（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・「志々の景観を守り育てる会」による国道 184 号、一般県道佐田八神線沿道除草（「ハートフルしまね」として活動　年２回の除草、延長 6.8km、面積 13,600 ㎡） ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者（県、国）および道路管理者（県、町）が行う ＜第４回委員会での意見＞ ・企業ＣＳＲなど作業参者との交流機会の提供
Ｈ２７で取り組むべき事項	①除草等の区域、時期、頻度や役割分担の明確化（維持管理協定の締結） ②「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」での草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動の実施（継続） ③企業ＣＳＲの継続実施（継続） ④草刈研修会　男女が参加できる研修会を実施する。（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
①フラワーバレー							
維持管理協定の締結			●	●	●		
種の購入			●				
種まき	●	●					
除草	●	●	●	●	●		国が町に委託
②フラワーバレー以外							
河川区域の除草等	●		●	●	●		
道路区域の除草等	●	●	●	●			

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

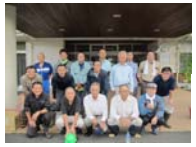


■今年度実施内容

1．国・県間で維持管理協定を締結（継続）
　管理区分の明確化。

2．生活拠点施設からうぐいす茶屋までの除草（継続）
・実施主体　　志々の景観を守り育てる会
・実施日　　平成27年6月6日（土）、8月1日（土）
・実施場所　　生活拠点施設からうぐいす茶屋までの国道沿い
・助　成　　島根県ハートフルロード事業交付金

・実施主体　　島根県雲南県土整備事務所
・実施日　　同上
・実施場所　　国道184号



3．企業CSRによる草刈、ゴミ拾い　（継続）
・実施主体　　飯南町
・実施日　　平成27年10月31日（土）
・実施場所　　うぐいす茶屋周辺及び東三瓶フラワーバレー周辺
・参加人数　　25団体、95名（過去最多）
・助　成　　島根県水源地域環境活動推進事業

【これまでの参加実績】
H24：　7 社、27 名　→　H25：　5 社、19 名　→　H26：23 社、73 名　→　H27：23 社、73 名

資料②：牧歌的な風景づくり　　（実施時期　中期）

家畜の放牧

（新規）

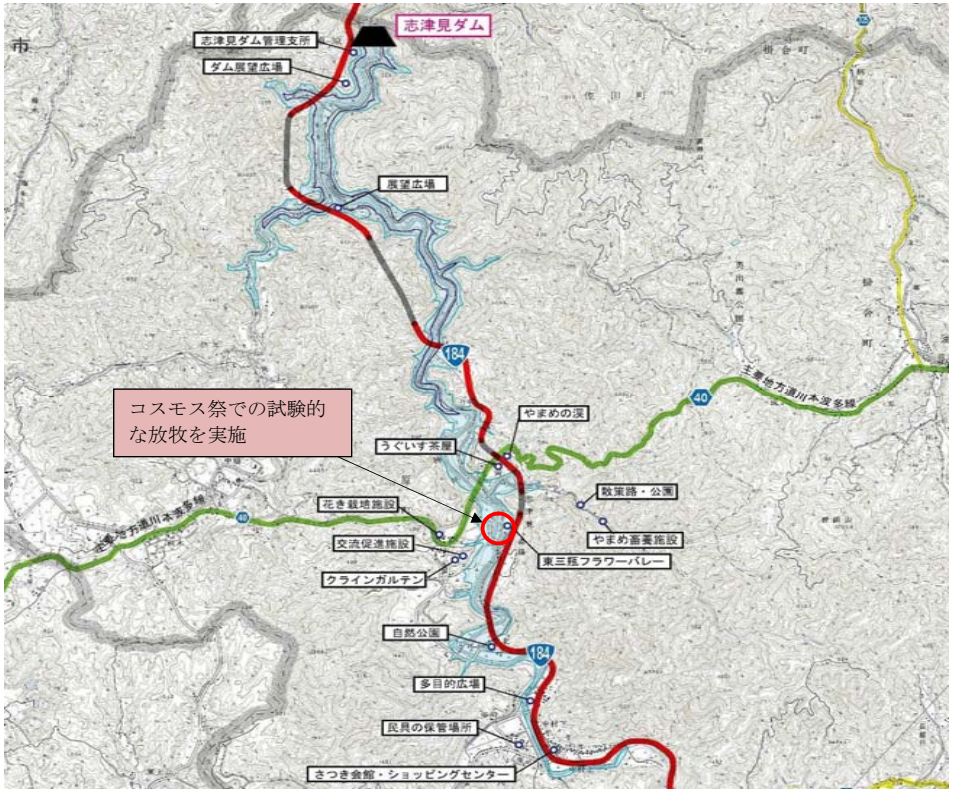
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の新たな景観の創出 ・家畜を利用した除草等による景観の保全
	場　所	・河川敷内
	内　容	・　牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで新たな河川景観を創出するとともに河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 ・　家畜は借用するなどして試験的な取組や学習会などから始める。
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　試行的な放牧を実施し、問題点や課題を検証（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
牛舎建設位置の調査	●		●				
放牧の可能性の調査	●		●				
牛舎の建設	●		●				
放牧の許可等の検討			●		●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．試行的な放牧を実施し、放牧に向けた問題点や課題を検証した。

・コスモス祭の際、果樹園の外周に策を設け、牛２頭を試験的に放牧。

→　放牧に不慣れな牛であったため、警戒心が強く不動状態であった。

コスモス祭の際に実施した放牧風景

資料③：町有林による景観美化

（既存）　飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。

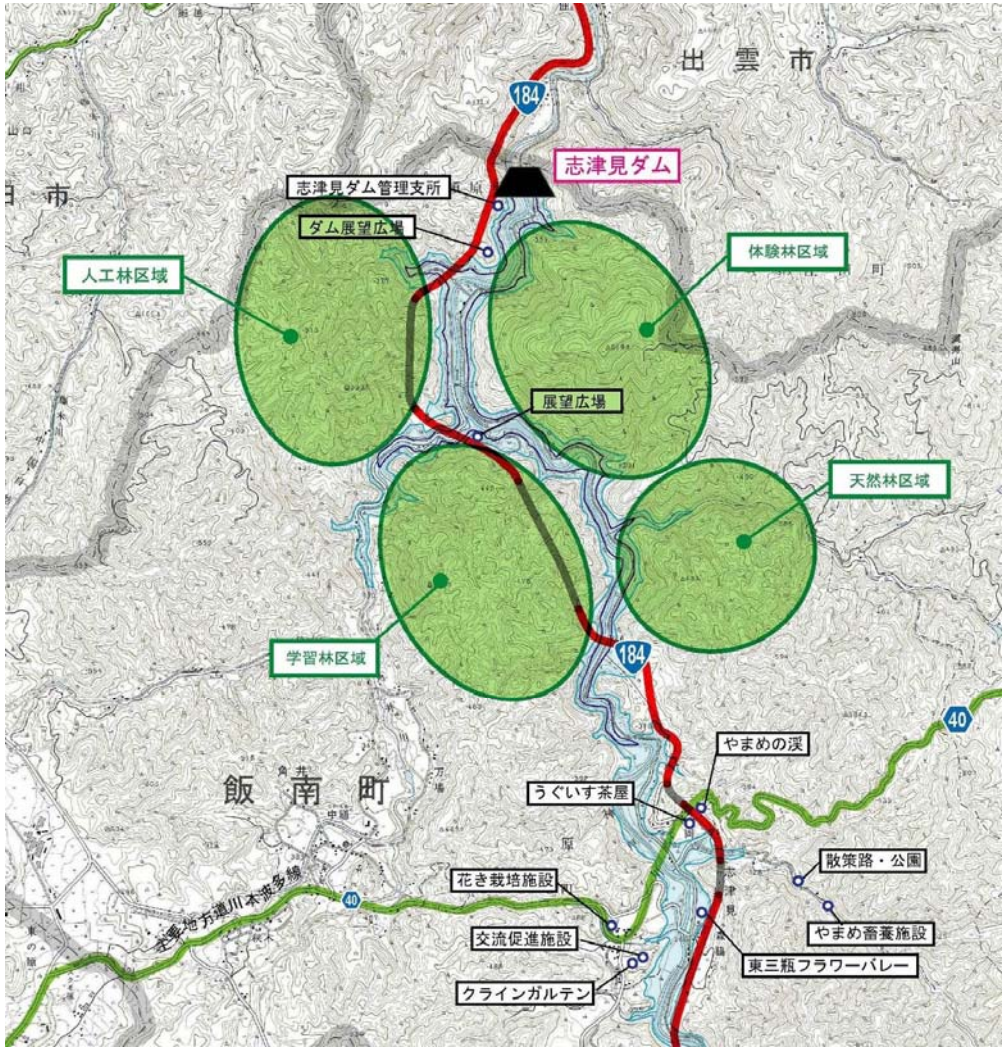
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観の保全・向上 ・水源地の体験学習林としての活用
	場　所	・国道 184 号沿いの町有林
	内　容	・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。（既存取り組み） ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・飯南町による町有林整備（植林整備） ・山林保全の位置づけ （人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域）
Ｈ２７で取り組むべき事項	①林道整備との調整を行う（継続） ②「元気にする会」等で整備・活用の方向性を議論する（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
企画立案	●		●	●	●		
林道整備			●				
整備に関する意見集約	●		●				
活用に関する意見集約	●		●	●	●		
取り組み後のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

■参考図（「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成）



■今年度実施内容

1. 環境学習の場としての可能性調査の実施。

整備計画

体験林ゾーン頂上から

さえずりの森からの進入路

資料④：彩りの森の紅葉をライトアップ

（既存）　既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。

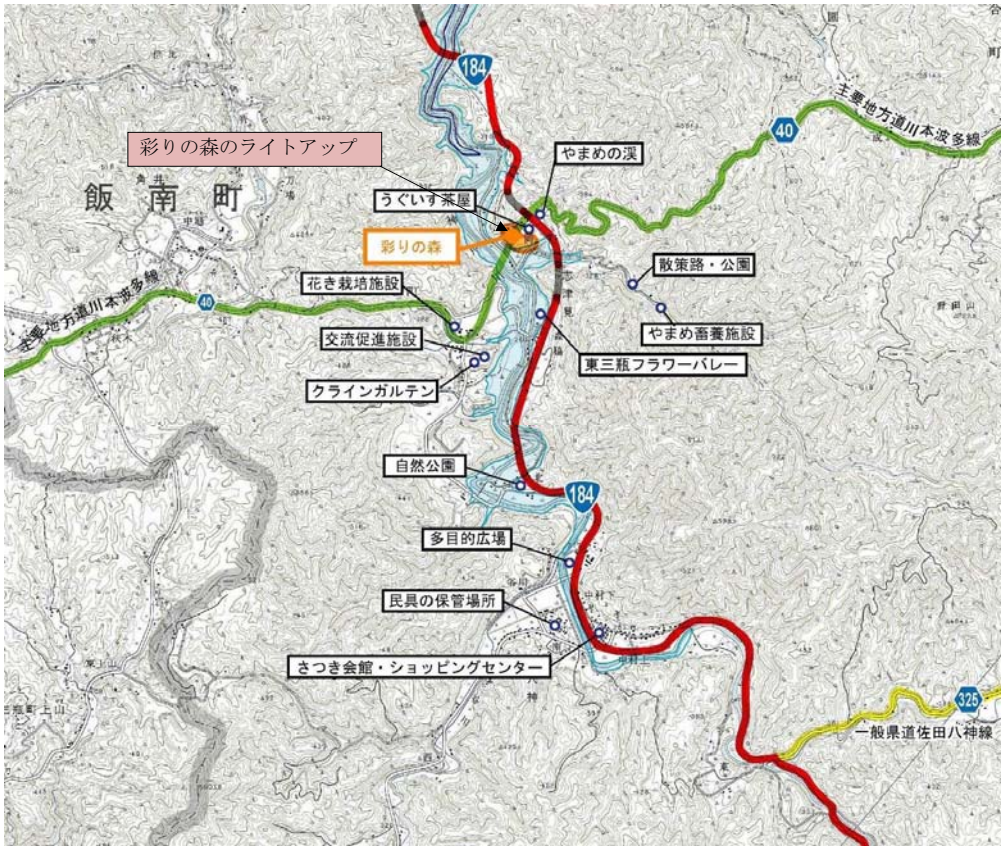
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出
	場　所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のモミジ植栽地区）
	内　容	・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森へのモミジの植栽 ・紅葉祭りの開催（11 月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10 月第 2 週、日曜日開催）
Ｈ２７で取り組むべき事項	① 紅葉祭りの開催にあわせたライトアップの実施（継続） ② 志津見ダムとの連携（継続） ③ 夜カフェ等の実施を検討する ④ 彩りの森植樹者に対しＰＲを行う	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
資機材の準備			●				
投光機の設置			●				
ライトアップの広報、ＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 彩りの森ライトアップ（継続）
紅葉まつりの開催にあわせ彩りの森のライトアップを実施（継続）
・実施日　　平成27年10月31日（土）～11月30日（月）
・点灯時間　　17：30～21：00
・実施場所　　彩りの森（うぐいす茶屋周辺）
・実施主体　　志都の里・飯南町
・助　成　　飯南町

彩りの森ライトアップ

2. 志津見ダムとの連携（継続）

3. 夜カフェ等の実施を検討する（新規）
石やき芋など、紅葉祭の夜、または、志津見ダム管理支所の駐車場で試験販売の検討

4. 彩りの森植樹体験者に対しPRを行う（新規）
→　紅葉祭りには植栽管理者176名が参加

志津見ダムライトアップ

紅葉祭

資料⑤：志津見ダムのライトアップ

既存の投光機を使用し、志津見ダムをライトアップする。

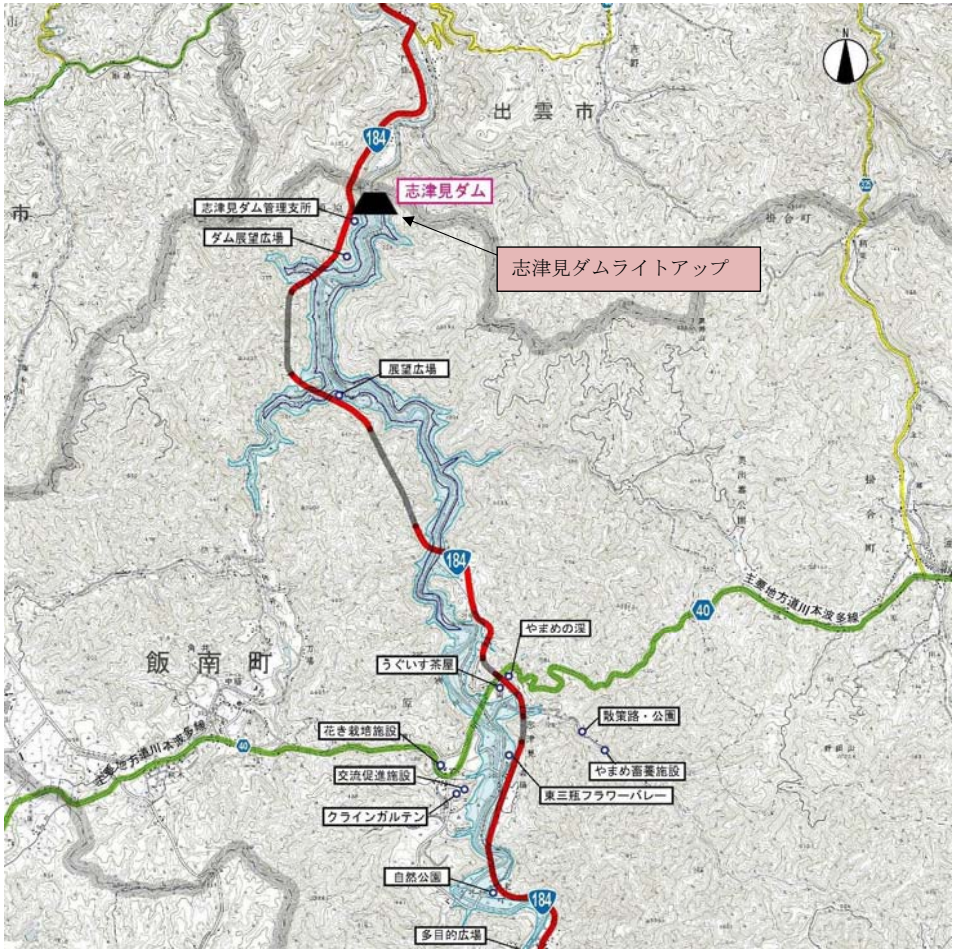
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出
	場　所	・志津見ダム
	内　容	・志津見ダムをライトアップしダム周辺の魅力アップを図る（継続） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森のライトアップ
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　紅葉祭りの開催にあわせたライトアップの実施（継続） ②　他の季節でも実施することを検討する（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ライトアップの企画	●		●	●	●		
ライトアップの実施					●		
ライトアップの広報、ＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 彩りの森ライトアップとの連携（継続）
   彩りの森ライトアップにあわせ志津見ダムのライトアップ（点灯試験）を実施（継続）
   ・実施日　　平成27年10月31日（土）～11月30日（月）までの土日祝祭日
   ・点灯時間　17：30～20：00
   ・場　所　　志津見ダム　堤体

2. 紅葉時期だけでなく他の季節でも実施することを検討する。（継続）

資料⑥：子供向け環境学習会の実施

（既存）　早期で実施していた神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプログラムを組み合わせ、上下流の交流をはかる。

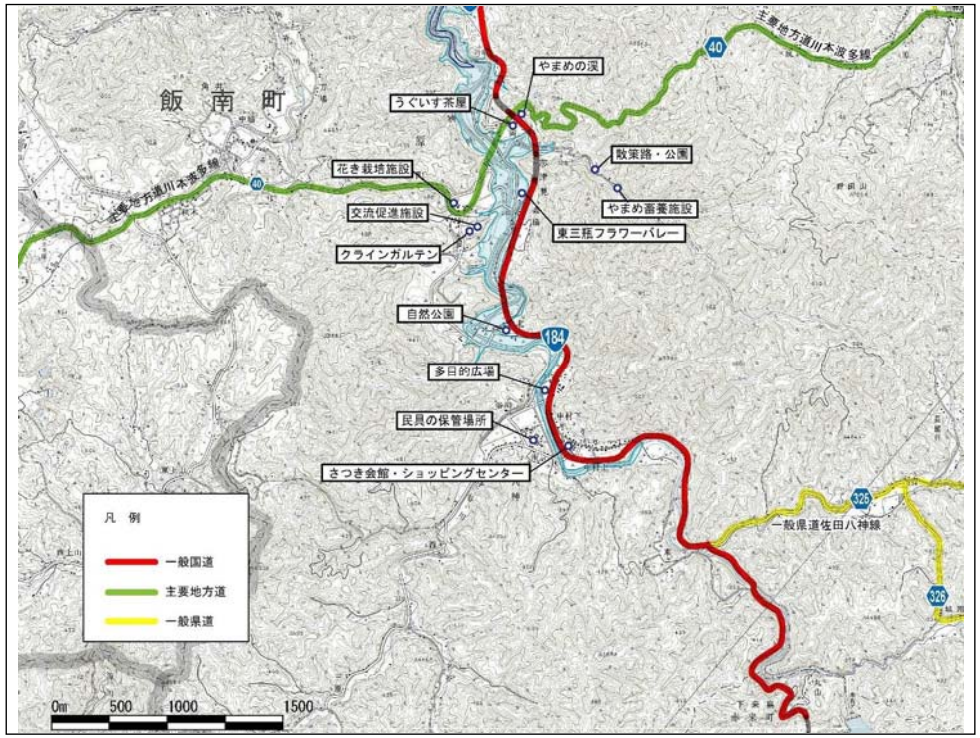
取り組み内容（全体）	目　的	・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成
	場　所	・神戸川流域
	内　容	・上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（新規取り組み） ・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（ＮＰＯ法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011　秋　　上下流の６小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校　飯南町八神　：志々小学校　3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校　3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校４年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校４年生合同調査（下流） 塩治町　　：塩治小学校４年生（下流） 第５回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会(2011．11．23) 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプルグラムを組み合わせ、より魅力的な環境学習機会を提供する（新規） ②　下流域住民の参加を増加させる ③　田舎ツーリズムとの連携を検討する	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
出前講座の検討	●		●	●	●		
参加小学校の検討	●		●	●	●		
教育庁との連携	●		●	●	●		
交流行事の企画	●		●	●	●		
調査の広報、ＰＲ	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

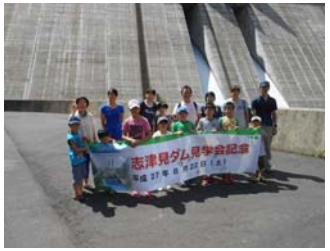


■今年度実施内容
1. ヤマメの生態調査にあわせ交流できる行事を企画する。（継続）
2. 下流住民の参加を増加させる。（継続）
　・ヤマメのつかみ取り、そば打ち体験、ダム見学　等

・実施日　　平成27年8月22日（土）
・場　所　　さつき会館前河原
・実施主体　飯南町、国交省、志々公民館
・参加者　　出雲市内の親子（小学生）　20名
・助　　成　　島根県水源地域環境活動推進事業

ヤマメのつかみ取り

そば打ち体験



ダム見学

資料⑦：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）

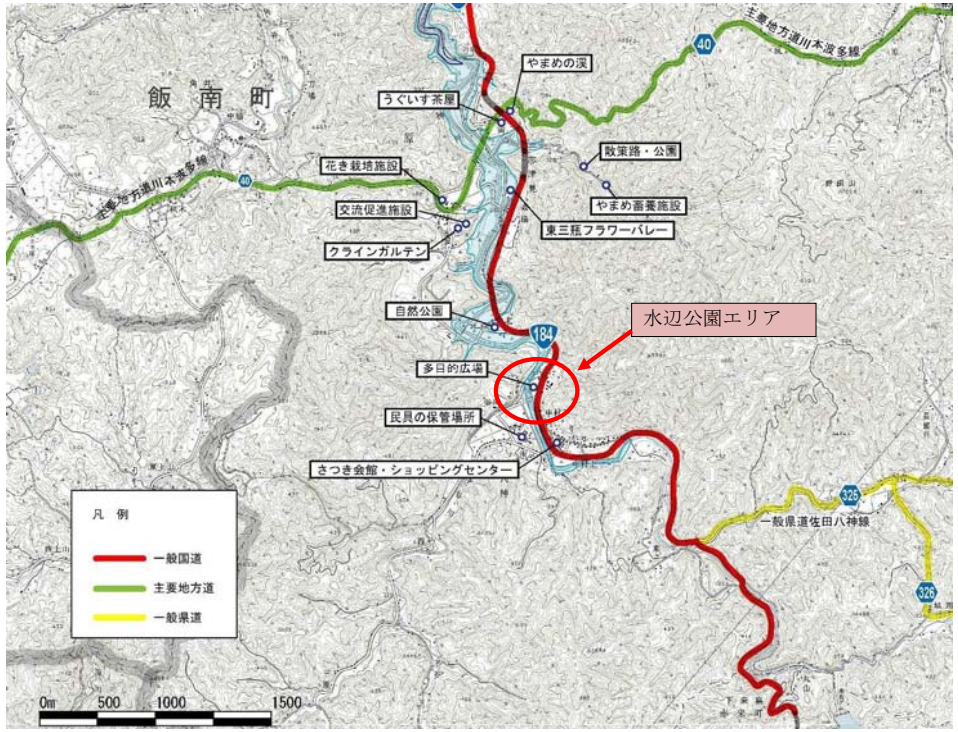
取り組み内容（全体）	目　的	・地域の自然環境を利用した環境学習 ・自然体験の場の提供 ・エコロジカルネットワークの形成
	場　所	・水辺公園エリア（志々小学校前）
	内　容	・水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　利用可能箇所の明示を行う（継続） ②　河床整備、除草等適正な管理を行う（継続） ③　意見交換会を行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
出前講座の検討	●		●	●	●		
参加小学校の検討	●		●	●	●		
教育庁との連携	●		●	●	●		
交流行事の企画	●		●	●	●		
調査の広報、ＰＲ	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

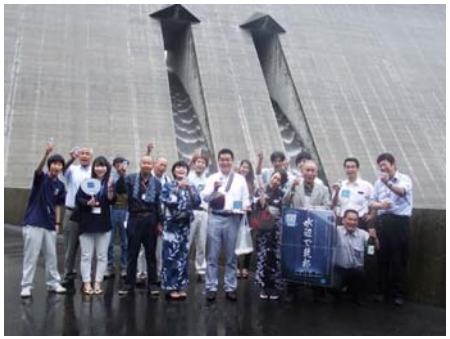


■今年度実施内容

1. 利用可能箇所の明示（継続）
2. 河床整備、除草等適正な管理を行う（継続）
3. 意見交換会の実施

～ 全国的な水辺リングプロジェクトの一環として志津見ダムにて開催した“水辺で乾杯”企画の後、その参加者とともに水辺やダムの活用、可能性について意見交換会を開催。

・実施日　平成26年7月7日（火）
・場　所　志津見ダム管理支所
・参加者　19名



水辺で乾杯

【基本方針２:明るく元気で豊かなふるさとづくり】

資料⑧：青空市の活性化、特産品の開発

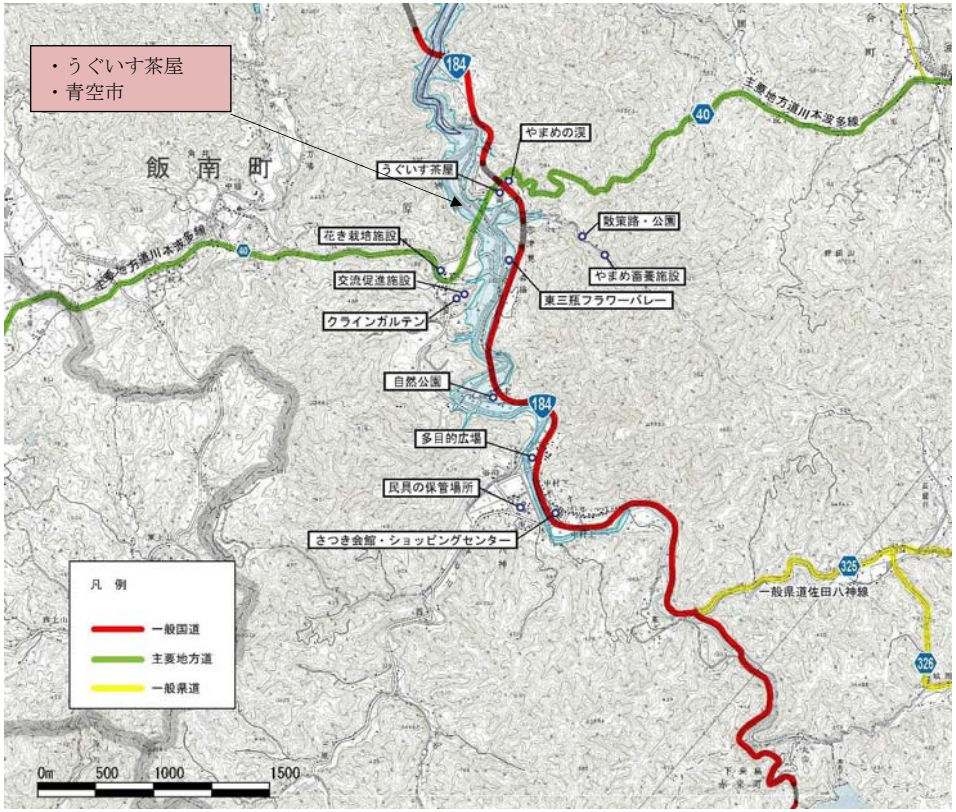
（既存）　地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

取り組み内容（全体）	目　的	・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘
	場　所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）
	内　容	・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。（新規取り組み） ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催
Ｈ２７で取り組むべき事項	①販売コーナーの商品を充実させる（継続） ②加工品の種類の充実を図る（新規） ③特産品の具現化（新規）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
	生産から販売までの仕組みづくり	●		●	●	●		**事例研修や勉強会、会場の魅力向上も含む**
	生産者の現状把握	●		●				
	出品する農産物の選択	●		●				
	農産物集荷方法の検討	●		●				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
	集客方法の検討	●		●				
	資金の調達手法の検討	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 販売コーナーの商品を充実させる（継続）
2. 加工品の種類の充実を図る（新規）
3. 特産品の具現化
・ダム貯蔵酒の諸手続きを行い、12月22日貯蔵開始。次年度のポピー祭りにて販売予定（200 本限定）。
・特産品開発の気運を高めることを目的とし、ダムカレーのコンテストや講演会を実施。

青空市の状況

ダム貯蔵酒の「蔵入れ」

ダムカレーコンテスト

ダムカレー講演会

資料⑨：地域懇親会の開催

（既存）　地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

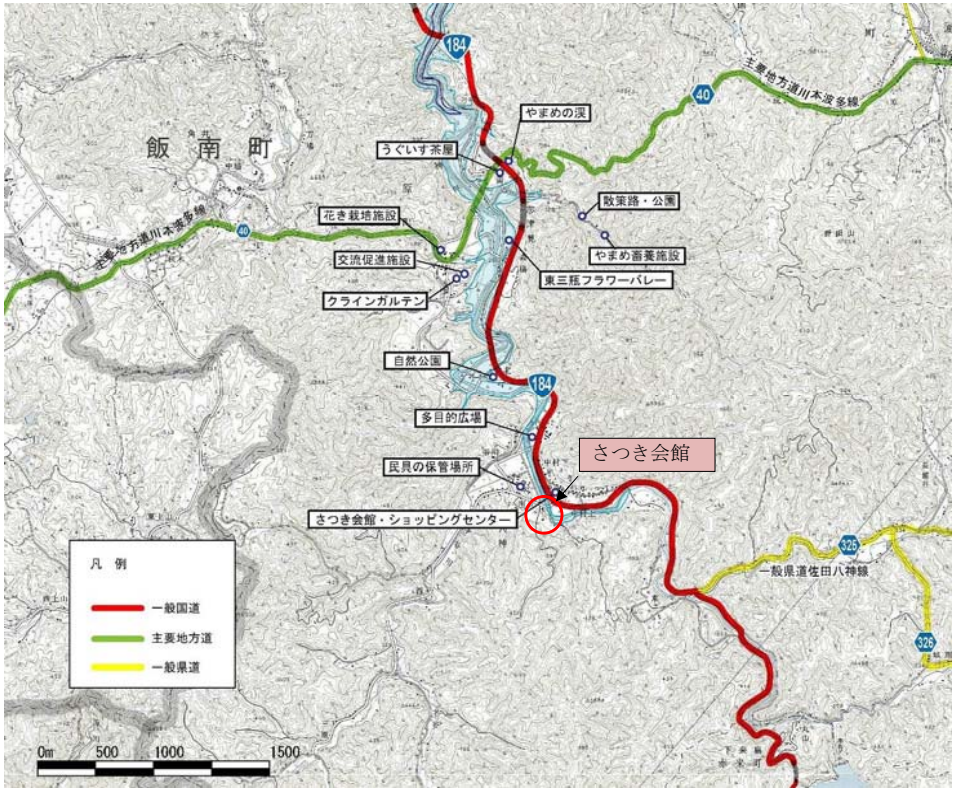
取り組み内容（全体）	目　的	・志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 ・地域コミュニティの強化 ・世代間交流 ・情報の共有と連帯感の醸成
	場　所	・さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、ダム展望広場
	内　容	・若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。（新規取り組み） ・以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。（新規取り組み） ＜意見交換テーマ＞ ①「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 また、自然観察会や家庭の味まつりなどとのタイアップも検討する。 ②「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用（着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイディア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 ③「マップ（パンフレット）づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・志津見ダムのキャラクター　くにびきくん ・ポピー祭のキャラクター ・コスモス祭のキャラクター ・飯南町のキャラクター　いいにゃん ・志都の里　湖畔散策マップ
Ｈ２７で取り組むべき事項	①引き続き開催（継続） ②地区全員が出られる機会をつくる（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
意見交換テーマの設定	●		●	●	●		
意見交換と意見集約	●		●	●	●		
会場提供			●				

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．引き続き開催

2．地区全員が出られる機会をつくり、幅広い意見の集約や魅力の再発見を通じて親睦や絆を深めた。

・ｸﾗｲﾝｶﾞﾙﾃﾞﾝ歓迎会　４月 18 日（土）
・ちびっこあつまれ　５月３日（日）～5 日（火）
・庵まつり　８月１日（土）
・公民館まつり　８月 29 日（土）
・昭和少年少女のつどい２月 27 日（土）

ガルデン歓迎会

ちびっこ集まれ

公民館まつり（はやしこ披露）

資料⑩：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

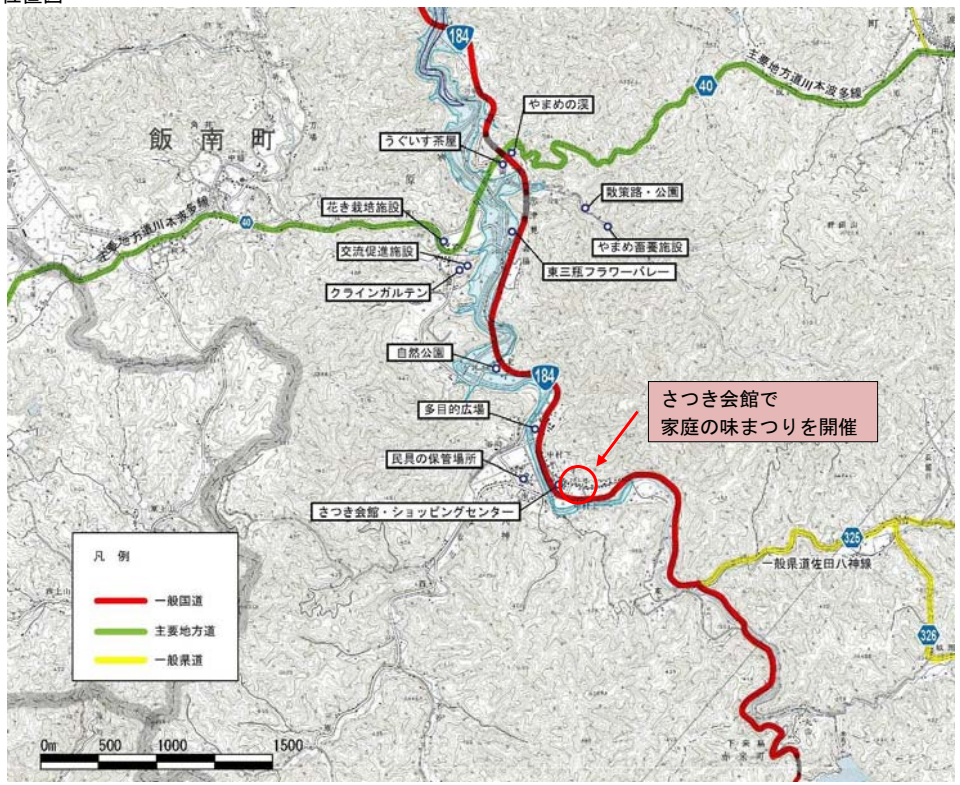
取り組み内容（全体）	目　的	・地域文化の伝承 ・地域の食文化の PR ・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘
	場　所	・志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋
	内　容	・地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。（新規取り組み） ・うぐいす茶屋でのメニュー化検討。（新規取り組み） ・レシピに基づく料理教室の開催。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業）　申請中（地域社会振興財団） ・志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行
Ｈ２７で取り組むべき事項	①家庭の味祭りの継続開催（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
助成申請	●		●	●	●		
家庭の味まつりの開催	●		●				
レシピ・写真の整理	●		●				
レシピのＰＲ	●		●	●	●		
写真集の発行	●		●				
写真集のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1.「家庭の味祭り」の継続開催

【家庭の味祭り】 11 月 28 日（土）開催

・参加者数　80名　（昨年 71 名）

・ダムカレーコンテストと講演会も同時開催し、志津見ダムやビジョンの認知、理解促進を目指した。

家庭の味祭り

ダムカレーコンテスト

ダムカレー講演会

資料⑪：民具の展示

地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。

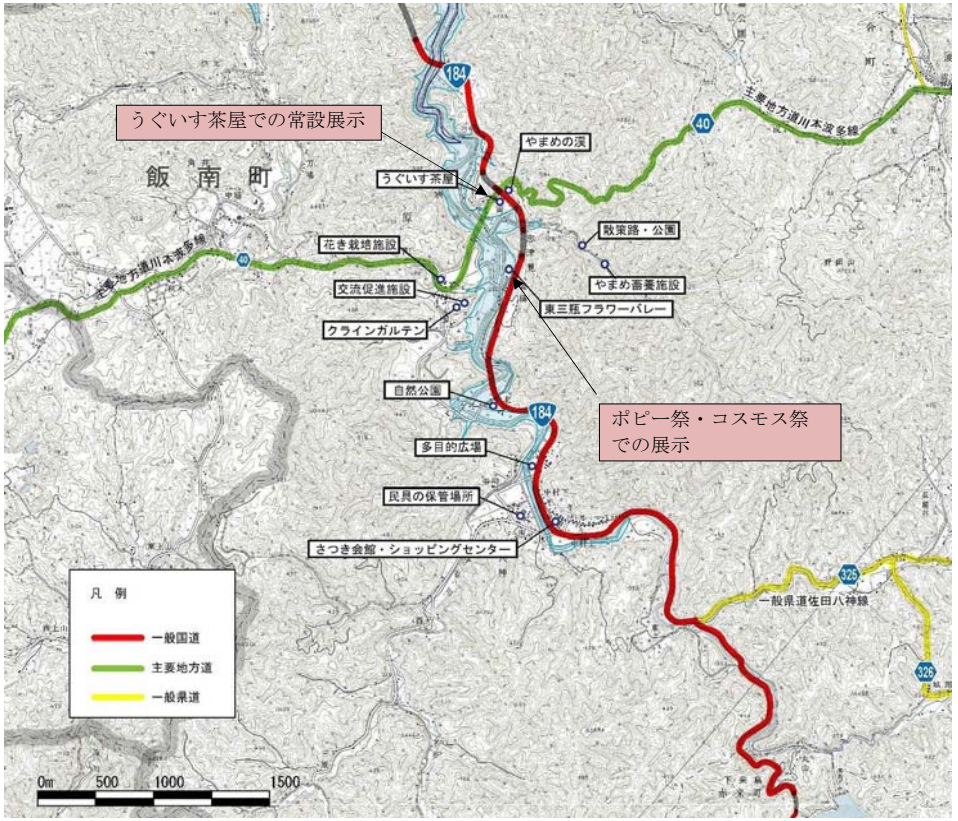
取り組み内容（全体）	目　的	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化の PR
	場　所	・うぐいす茶屋、フラワーバレーエリア、**志津見ダム管理支所、さつき会館（志々公民館）など**
	内　容	・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） ・さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ・ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　うぐいす茶屋等での常設展示（継続） ②　ポピー祭、コスモス祭等イベント時の展示（民具の実演等展示に工夫）（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
①うぐいす茶屋等常設展示							
常設展示の企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
民具の搬入・設置	●		●				
②イベント開催時の展示	●		●				
イベント展示の企画	●		●	●	●		
民具の搬入・設置・撤去	●		●				
民具の管理	●		●				
③民具の展示のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．うぐいす茶屋での常設展示

2．ポピー祭、コスモス祭での民具展示（実演等展示方法に工夫）　→　未実施

【基本方針３：人が集まるふるさとづくり】

資料⑫：ポピー祭・コスモス祭開催

（既存）　これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化
	場　所	・フラワーバレーエリア
	内　容	・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（新規取り組み）や、ダム見学、発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会
Ｈ２７で取り組むべき事項	①ダム湖巡視船による湖面巡視体験（継続） ②ダム見学会「ダムの目的、構造などの説明とダム施設見学」（継続） ③発電所見学会（継続） ④志津見ダム水源地域ビジョンの PR（継続） ⑤降雨体験機による豪雨体験（継続） ⑦ダムカードを活用したコーナー（継続） ⑧地域住民対象の乗船会の開催（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
湖面巡視体験の実施			●	●	●		
ダム見学会の実施			●	●	●		
発電所見学会の実施			●	●	●		
集中豪雨に関する展示 降雨体験機による体験					●		パネル等の展示
イベントの広報・ＰＲ	●		●	●	●		
ビジョンのＰＲ	●		●	●	●		パネル展示

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

■今年度実施内容（ポピー祭り、コスモス祭において実施）

【入り込み実績】　ポピー祭り　／　コスモス祭り

H23　：　3,000 人　／　5,000 人
H24　：　4,000 人　／　5,000 人
H25　：　6,000 人　／　5,500 人
H26　：　4,500 人　／　5,500 人
H27　：　5,000 人　／　5,000 人

ダム巡視体験（ｲﾍﾞﾝﾄ時）

ダム巡視体験（ｲﾍﾞﾝﾄ時）

ドローンのデモ飛行

資料⑬：志々ファンクラブ（仮称）

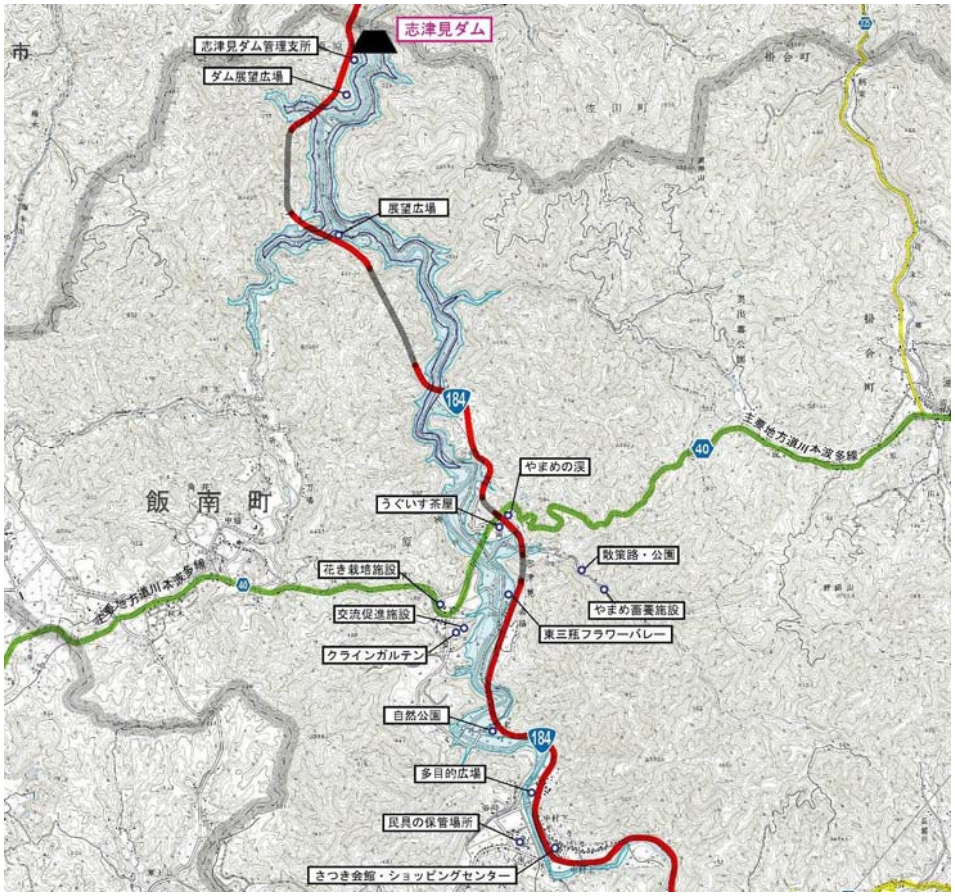
（新規）　クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。

取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化
	場　所	・水源地域
	内　容	・クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（新規取り組み） ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。（新規取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（新規取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　効果的な情報発信について検討する（継続） ②　会員の具体化（どの層を狙うか）を検討する。（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
	志々ファンクラブの企画	●		●	●	●		
	志々ファンクラブの結成	●		●				
	ネットワークの構築	●		●				
	名簿の収集	●						
	志々ファンクラブの PR	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. フェイスブックの活用を中心に積極的な情報発信方法を実施

フェイスブック

（公開している写真の一部）

資料⑭：カヌー教室・ラジコンボートレース大会

カヌーやラジコンボートなど、フラワーバレー周辺の湖面の活用を検討し、実施する。
（新規）

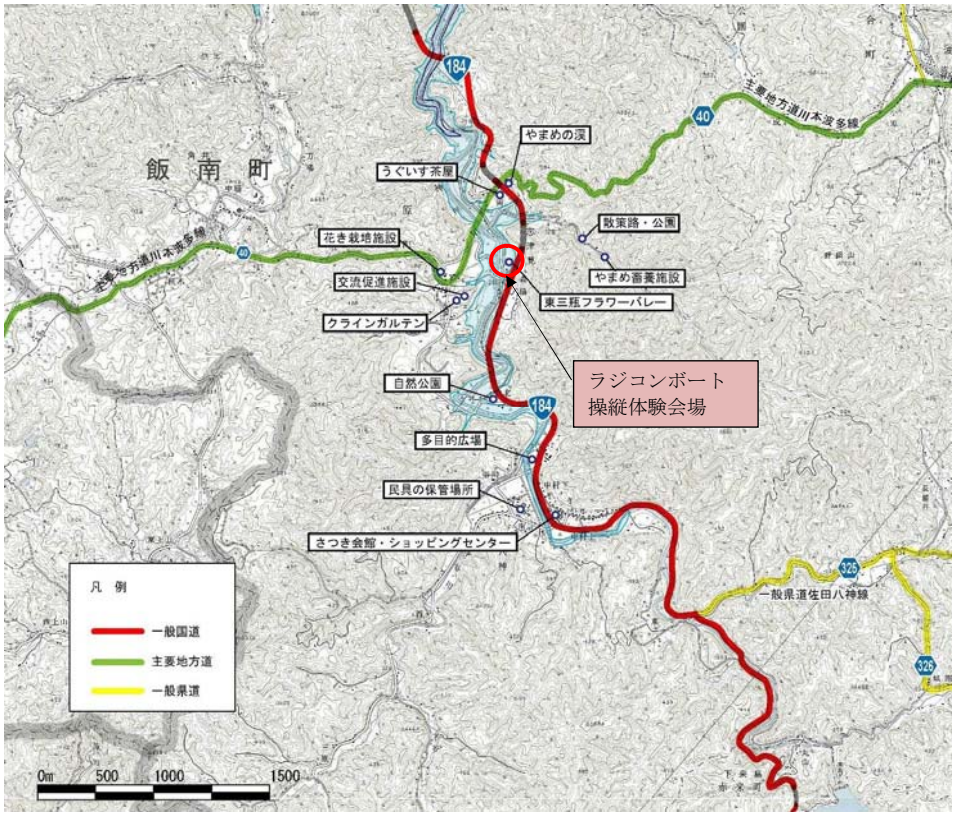
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用
	場　所	・フラワーバレーエリア
	内　容	・PTA 等を対象に実施したカヌー教室を、フラワーバレーエリアで新たに開催する。（新規取り組み） ・ラジコンボートの愛好家が集い、レースと楽しむようなイベントを開催する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・H17～18 年の 2 年ほど、志々小学校ＰＴＡを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討
Ｈ２７で取り組むべき事項	①ダム湖を活用した体験会の開催を行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
カヌー教室の企画	●		●	●	●		
カヌー教室の講師選定	●		●	●	●		
資機材調達	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容
1. カヌー教室の開催　→　未実施
2. ラジコンボートレース大会の可能性調査の実施
・地元のラジコン愛好家や模型店との意見交換を行ったが、愛好家人口が少なく、模型店でも年 1 台も売れないといった状況から、ニーズ自体が限定的。
・国内では琵琶湖、霞ヶ浦でレースが行われているが、志津見湖の規模では小さすぎて実施困難。
3. ラジコンボート操縦体験の実施　（コスモス祭と同時開催、10 月 11 日（土））

ラジコンボート操縦体験

新たな活用が期待されるスペース

資料⑮：フォトコンテストの開催

（既存）　ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

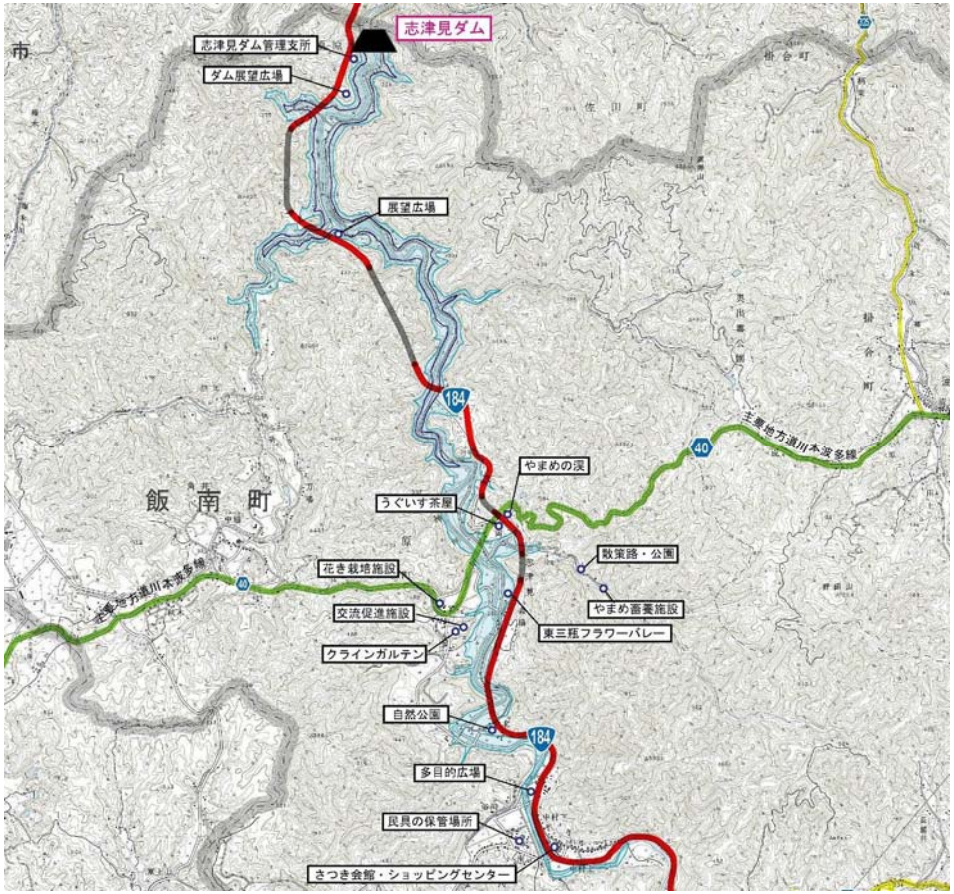
取り組み内容（全体）	目　的	・情報発信 ・地域資源の再確認
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・景観フォトコンテスト ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・いーなんの雪携帯フォトコンテスト
Ｈ２６で取り組むべき事項	① 年間を通した募集を引き続き行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
コンテストの企画	●		●	●	●		
コンテストの実施			●				
コンテストの広報・PR	●		●	●	●		
作品審査	●		●	●	●		
賞品準備	●		●	●	●		賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 年間を通した募集を引き続き行う（募集期間：2015 年 6 月～2016 年 1 月）

【これまでの受賞作新】

＜い～にゃん賞＞

＜志津見湖賞＞

＜東三瓶ﾌﾗﾜｰｲﾍﾞﾝﾄ賞＞

資料⑯：志々のみどころ紹介

（新規）

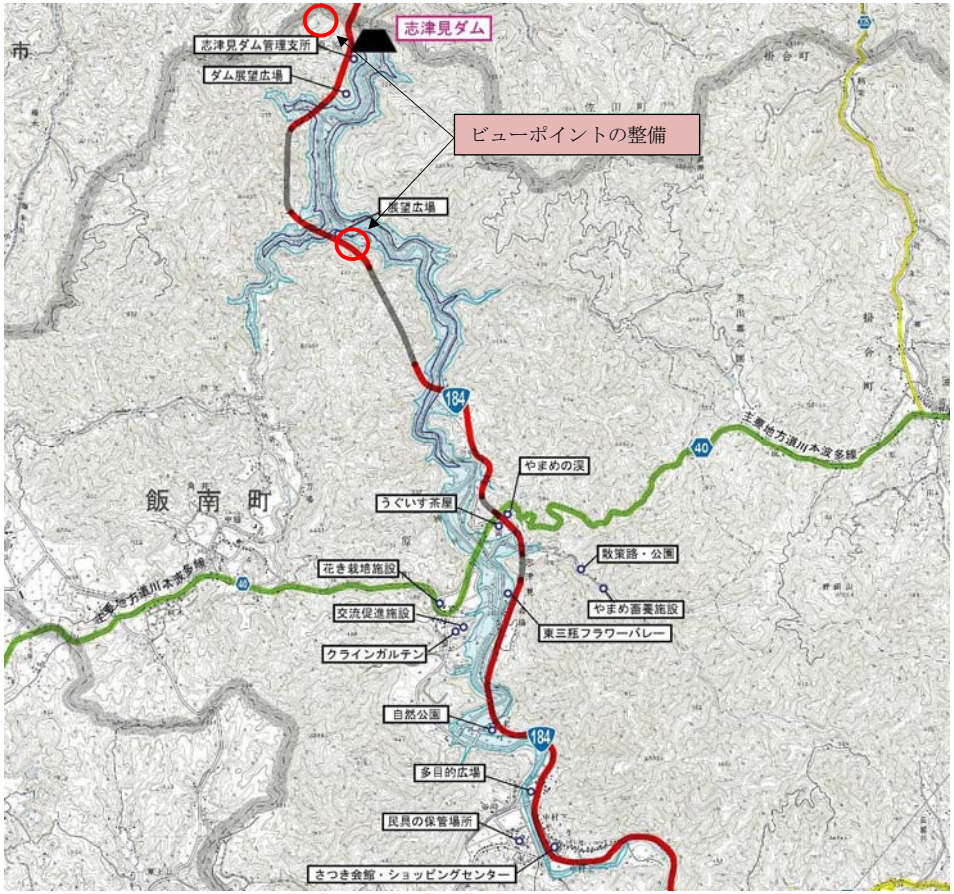
取り組み内容（全体）	目　的	・情報発信 ・地域資源の再確認
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・　行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・　周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・　ダムのビューポイントの整備とＰＲ
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　志津見ダムフェイスブックでの紹介 ②　周辺（県内・広島県北部）ダムとの連携 ③　志津見ダムビューポイントの整備と紹介	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ダムＨＰのアイディア	●		●	●	●		
ダムＨＰの改良					●		
周辺ダムとの連携方策の検討	●		●	●	●		
ダムのビューポイントの整備				●	●		
広報			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

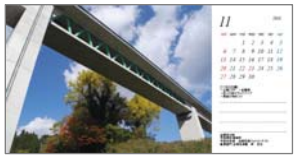
位置図



■今年度実施内容

1. 昨年度より運用を開始した志津見ダム
　フェイスブックにて適宜、見どころを紹介

2. 卓上カレンダーの制作
→　地域の魅力やみどころを再発見する機会として、
　卓上カレンダーを制作し、地区内全戸に配布。
（写真の一部はフォトコンテストの作品を活用）



卓上カレンダー（一部抜粋）

観光協会の記事をシェア

資料⑰：水源地域のサイン計画

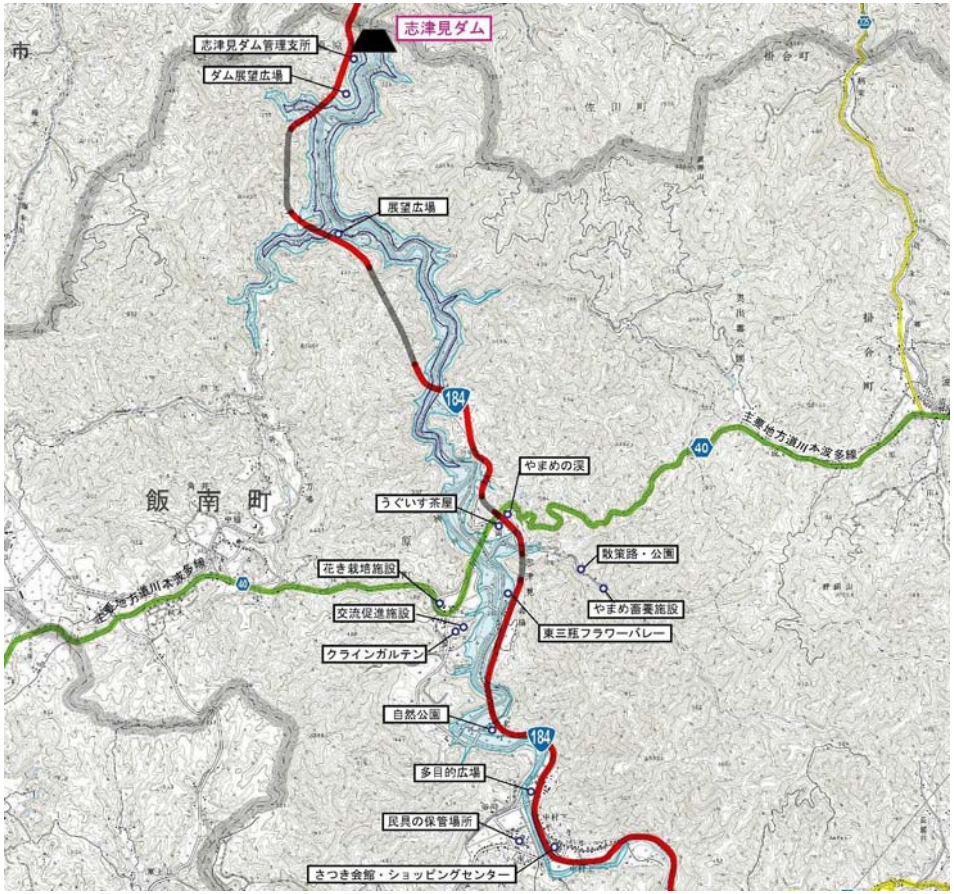
（新規）

取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の位置を発信
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・　周辺施設（道路）から志津見ダムへの案内看板の計画と設置
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　案内看板の計画策定	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担								
	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
	案内看板の計画策定	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■検討内容

・　尾道松江線を含めた周辺施設からの、志津見ダムへの案内看板計画の検討
「元気にする会」等での意見交換、アンケート調査、現地視察等を実施し検討していく。
具体的な進め方は下記のとおり

1．志津見ダムへの誘客を促進するために設置する案内看板を検討するにあたり、対象とする範囲とそのルートの設定を行う。
①　志津見ダムへのルートの設定
②　既存の案内標識の整理

2．案内標識の新規設置案の作成を行う
①　設定したルート上で曲がり角など利用者が迷いやすいポイントを検討し、案内標識を追加・更新すべき箇所を設定する。

資料⑱：田舎体験　　（実施時期　中期）

地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

（既存）

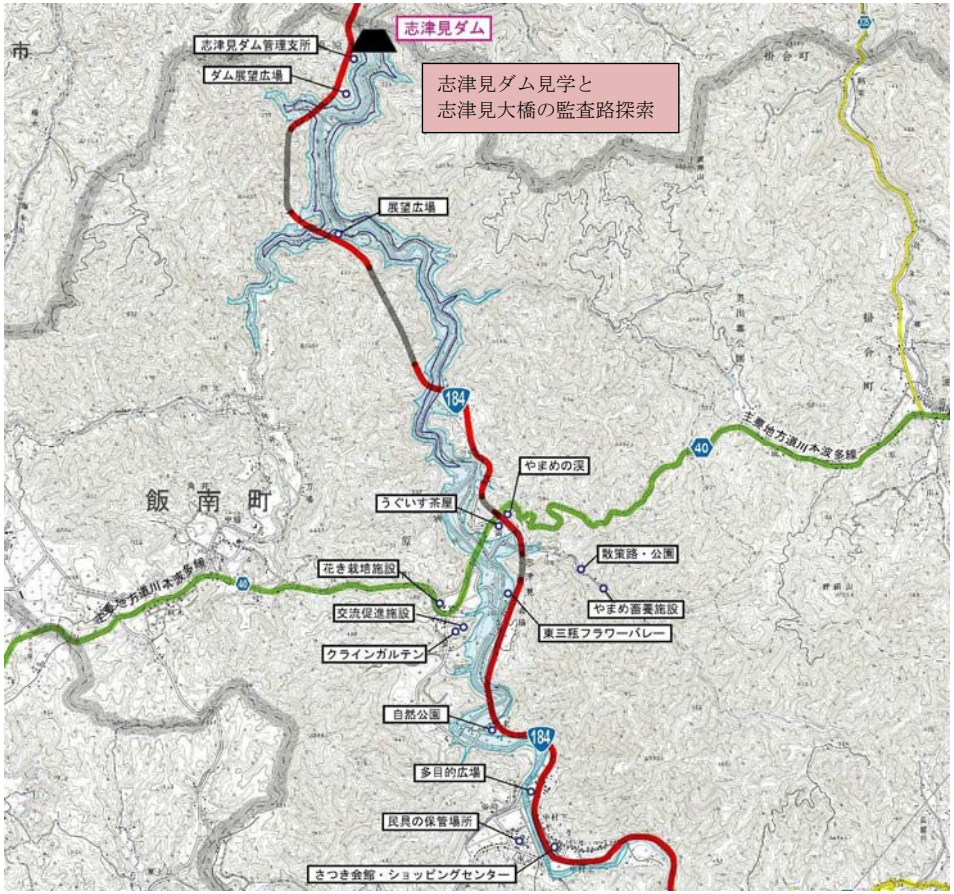
取り組み内容（全体）	目　的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進
	場　所	・島根県中東部
	内　容	・水源地域の生活や文化を体験しつつ、ダムへの理解促進を図るようなツアーの開催 【他のアクションプランとの連携】 ・　子供むけ環境学習会の実施 ・　ダム見学 ・　上下流交流 等との連携
Ｈ２７で取り組むべき事項	①地域の自然や生活、食文化など体験プログラムの作成 ②他地区での実施に向けた検討	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ツアーの企画						ダムの魅力発信	ツアー会社にて実施
ダム見学の計画・実施			●	●	●		
広報、ＰＲ			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1.「親子で稲刈り」体験の実施　9 月 12 日（土）
　～稲刈り体験とダム見学の実施。

稲刈り体験

ダム見学会

2. 他地区での実施に向けた検討
・営農組織に説明会を開催し、獅子地区において実施を予定
・次年度実施に向け、地区内で内容を検討中（田植え＋稲刈り等）

資料⑲：広域的な連携検討　　（実施時期　中期）

（既存）　他地区との連携を検討する。

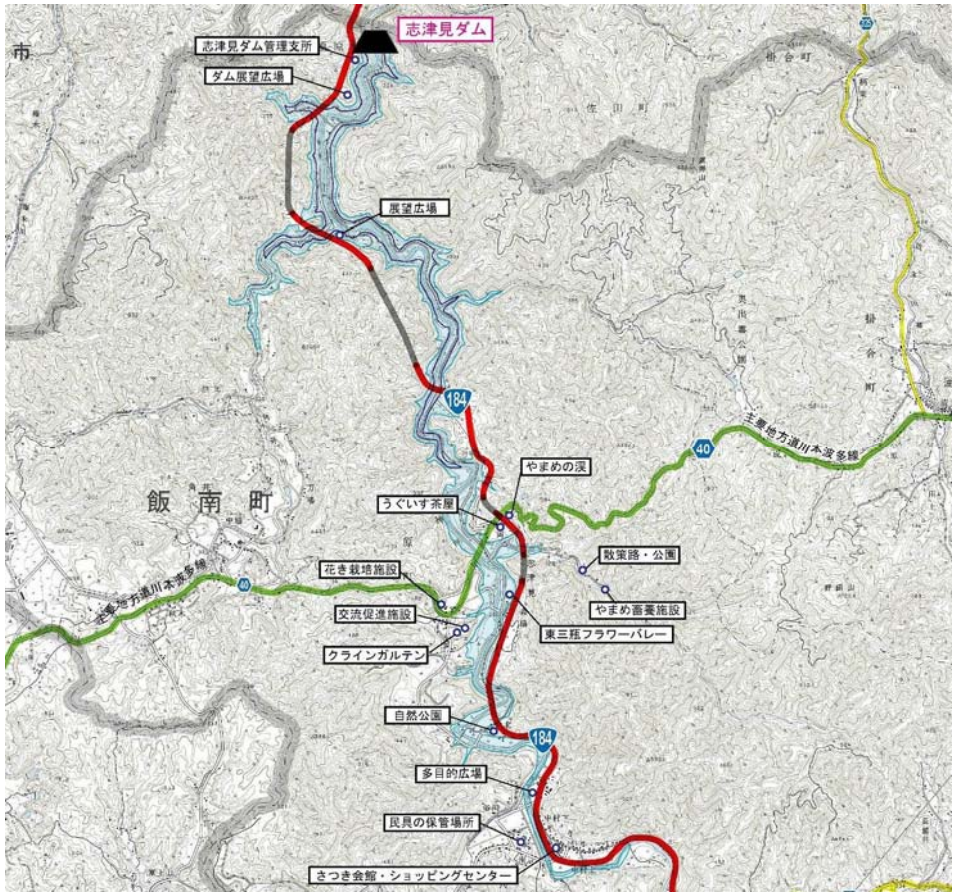
取り組み内容（全体）	目　的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進
	場　所	・島根県中東部
	内　容	・三瓶山（三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル）や石見銀山、出雲市（佐田地区）、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くＰＲする。 【他のアクションプランとの連携】 ・　河川と道路の清掃活動 ・　水生生物調査 ・　ポピー・コスモス祭り 等との連携
Ｈ２７で取り組むべき事項	①　周辺地域（三瓶山周辺）への志津見ダムのＰＲを行う（継続） ②　斐伊川流域との交流（継続） ③　尾原ダム地域との交流（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
イベントの企画	●		●	●	●		
イベントの運営	●		●	●	●		
広報、ＰＲ			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

・三瓶山周辺地区との交流

　大田市・美郷町との連携を図る

・上下流小学生の交流

　ダム見学会、水生生物調査、さつまいも収穫体験等での交流

・斐伊川流域との交流

　松江市、出雲市、雲南市等の市民との交流

・尾原ダムとの交流

　尾原ダム周辺で開催されるイベントへの有志の参加

　尾原ダム周辺市町住民との交流